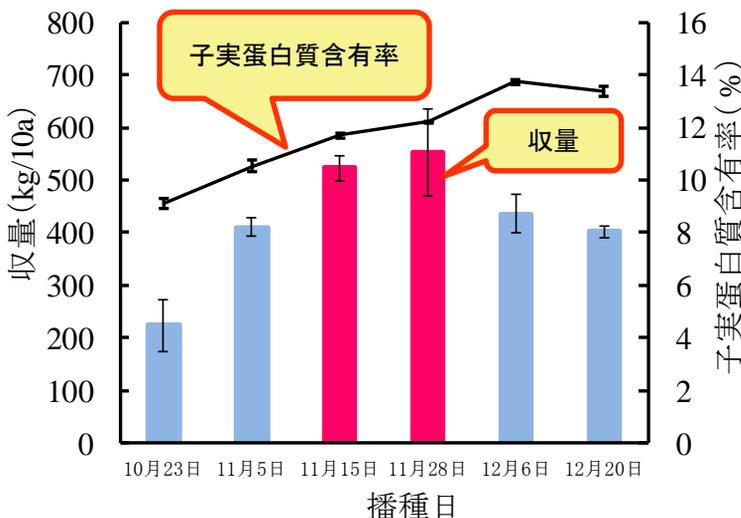


二条大麦「スカイゴールデン」 安定生産のための播種量と施肥法



収量と蛋白質含有率からみた
「スカイゴールデン」の播種適期



「スカイゴールデン」の4.5葉期
(分けつ肥施用時期)

開発のねらい

本県では、ビール大麦を大規模に作付けする生産者が多く、播種時期が11月中旬から12月下旬までと長くなり、生育の違いにより収量や品質の変動が大きくなっています。そこで、「スカイゴールデン」の収量と蛋白質含有率の安定化を目的として播種時期に応じた播種量と施肥方法を明らかにしました。

新技術の概要

- 「スカイゴールデン」の播種適期は11月中～下旬で、この時の適正な播種量は、10 aあたり6 kgです。しかし、12月以降に播種する場合は穂数の確保を容易にするため10 kgとします。
- 肥料は、基肥として窒素成分で10 aあたり4 kgを与えます。さらに、4.5葉期に分けつ肥として4 kgを与えます。穂数を確保し高収量を得るためには4.5葉期の分けつ肥が欠かせません。
- 幼穂長10 mm期の穂肥の施用量は、適期播種の場合は窒素成分で10 aあたり3 kg、播種が12月以降となる場合は2 kg与えます。

活用場面

県南部の栽培を対象とし、本技術を活用することで、県産二条大麦の収量と蛋白質含有率の安定化が見込まれます。